

手島所長着任のご挨拶

12月中旬に外務本省からサイパン領事事務所の所長として着任しました。

私は、1990年に外務省に入省後、経済協力、安全保障政策、中国等に係る業務を本省で担当したほか、在上海総領事館、在香港総領事館、国連代表部、OECD代表部等の在外公館で勤務しました。

個人的には、太平洋の島々の中でハワイ、グアムには、これまでに旅行で訪れたことがあります。サイパンには今回初めてになります。

当地は、素晴らしい海岸、緑豊かな自然の美しさが人々を魅了し続けるとともに、80年前の大戦における激戦による多大な損害と苦痛をもたらしたことで知られ、その傷跡がこの島のあちこちに深く残されていることを意識しております。

そして、過去に起きたこととともに最近数年の世界を考えますと、多くの地において、民間人の犠牲を伴う武力紛争が続いており、私自身そのことに悲嘆と無力感に苛まれます。当地における仕事や生活を通じ、過去に対する思いや反省の気持ちを新たに、人類が現在もなおとらわれている戦争というものについて、自分なりに深思する機会にもしたいと考えています。

平和のありがたみというものを決して当たり前と思うことなく、日本と北マリアナ諸島との間の良好な関係の増進、邦人の皆様に対する適切な領事サービスに努めて参りますところ、どうぞよろしくお願い申し上げます。

佳き年末年始、休暇シーズンを心より祈念いたします。

2024年12月

在サイパン領事事務所

所長 手島 亜紀子

〈 所長略歴 〉

1990年4月、上智大学を卒業後、外務省に入省。本省において、経済協力、安全保障政策、中国に係る業務等を担当したほか、在上海総領事館、在香港総領事館、国連代表部（ニューヨーク）、OECD代表部（パリ）等の在外公館にて勤務。直近では国際協力局地球規模課題総括課上席専門官（2021年11月—2024年11月）を経て、2024年12月17日に当地に着任。